

お食い初め儀式手順

お食い初め

お子様が誕生して100日から120日に行う儀式です。お子様の健やかな成長と食べ物に一生困らないよう、願いを込めて食べさせる真似をします。諸説色々ございますが、次の手順を参考にして下さい。

準備

食べさせ役は、長寿にあやかるという意味で、身内の最年長の方が通例ですがご両親でも結構です。お子様が男の子なら男性、女の子なら女性が膝の上に乗せて儀式を進めて下さい。

儀式手順

次の順番通りの食べ物をお箸の先でちよんとつけ、お子様の口にその箸先をちよんちよんとつけます。※あくまで真似事ですので口に入れないで下さい。アレルギーが気になる方は口につけないで下さい。

口につけるタイミングで皆様で声掛けをお願いします

① 赤飯
「多くの方に巡りあえますように」

② 吸物(蛤)
「良縁に恵まれますように」

③ 鯛
「賢く育ちますように」

④ 煮物(里芋)
「子宝に恵まれますように」

⑤ 香の物(梅干)
「しわしわになるまで長生き出来ますように」

⑥ 鮑
「歯が丈夫になりますように」

食材意味

赤飯：赤い米は太陽、豆は星を表し、多くの方に巡り合えますように
蛤：良縁に恵まれますように
鯛：大海を悠々と泳ぐ鯛のように成長し賢く育ちますように
里芋：子宝に恵まれますように
梅干：しわしわになるまで長生きできますように
鮑：(歯固め石として)歯が丈夫になりますように

お子様の誕生から今日までご成長おめでとうございます。健やかな成長をお祈り申し上げます。

魚伊三

謹製

